

# 症例 81才女性

## 《生活歴》

茨木市にて、同胞1男1女末子として出生した。元来几帳面で世話好きな性格であった。短期大学卒業後、茨木市で幼稚園の先生として勤務。27才時結婚し、共稼ぎをしていたが1男1女を設け、子供ができてからは専業主婦をしていた。子供が独立後は夫と二人暮らし。子供たちは長男は東京で家庭を持ち、長女は茨木市に家庭を持ち住んでいる。夫婦仲は良かったが、3年前に夫が脳梗塞で寝たきりとなり本人が介護して、夫の薬も管理していた。

## 《既往歴》

糖尿病 70才からトラゼンタ  
慢性胃炎 76才からガスター  
不眠 80才からデパス

## 《現病歴》

糖尿病の治療のため一ヶ月に一度近くのかかりつけ医にかかっていたが80才ころから予約日に来ないことも見られるようになった。かかりつけ医から聞いた長女が心配して家を訪ねると、本人や夫の薬も余っていることがわかった。その後は長女が定期的に家を訪問して薬カレンダーで管理するようになり、薬の飲み忘れはなくなった。几帳面であったがごみの分別やごみ出し日も間違ってくるようになって、冷蔵庫の中に同じ野菜がたくさんあり、傷んだものもみられるようになった。そのころから意欲の低下もあり歩くのもおぼつかなくなってきた。

年末に一人で買い物に行く途中で転倒、頭部打撲して救急搬送されたことがあったがCTでは特に異常なく、入院せずに帰宅した。

その頃から日にちの言い間違いや、同じことを繰り返し尋ねることも増えた。身の回りの事は何とか出来るが、銀行のATMでお金を振り込んだりするのに手間取るようになった。それまでバスで出かけていたが、外出はめったにしなくなり電気も点けずに居間でぼんやりしていることが見られるようになった。昼は庭いじりをしたりしているが、夕方から夜にかけてイライラすることもあり、「台所に女の子が座っていた」と言うこともあった。尿の失敗もあり、足取りもいつもとは違って足のむくみも見られ食事量も減ってきたため家族が心配して、かかりつけ医に相談し、もの忘れ外来受診となった。

### 《内服薬》

ガスター	10mg	1錠	
トラゼンタ	5mg	1錠	朝食後
デパス	1mg	1錠	寝る前

- どのような見立てができるか

- どのような情報をもっと必要か

自分なりに考えてみてください

・ ケースから「生活障害」と思われるものを抜き出してください

・ 評価するためにもっと必要な情報を考えてみてください

・ ケースから「認知機能障害」と思われるものを抜き出してください

・ 評価するためにもっと必要な情報を考えてみてください



・ ケースから「精神症状」と思われるものを抜き出してください

・ 評価するためにもっと必要な情報を考えてみてください

・ ケースから「改善可能なもの」を検討してください

・ 評価するためにもっと必要な情報を考えてみてください



